

## 当たり前を見直そう

シン・ガイ

皆さん、こんにちは。シン凱と申します。

私は今まで、ずっと中国で教育を受けてきましたが、日本に来て、様々な人と交流したり、日本人の友達と討論するにつれてそれまで当たり前だと思っていた多くのことを見直す必要があると思いました。

特に、両国の学生が持つ学習の目的や学習に対する態度に着目しました。

お金があれば幸せになります。お金がなければ不幸になります。将来お金を儲けるために今から一生懸命勉強しなければならないという教育理念を植え付けられてきました。

子供に勉強をさせるために多くの親が買い、子供の目の付くところに立て掛けている「清華大学ママ語録」というものがあります。

内容は以下のようです。

何でお母さんは私に勉強を強要するのですか。

- (1) 将来注文をするときに値段を見なくてもいいようにするためです
- (2) 将来疲れたときにタクシーで家に帰ることができるようにするためです
- (3) 旅行に出かける時に好きなホテルに泊まれるようにするためです
- (4) 生計のためではなく、自分のやりたいことを仕事にするためです

つまり、この語録が言いたいことは、「幸せはお金によって決まる」ということです。

中国はここ数十年来、経済は急速に発展し、生活が豊かになる人がいる一方、貧富格差が拡大しています。それにより多くの人が焦りを感じています。毎日お弁当を食べている人より、好きなものを注文できる人が幸せです。自転車と地下鉄で通勤している人より、タクシーで家に帰ると、幸せです。ゲストハウスに泊まって旅行するより、高級ホテルに泊まると幸せです。多くの人が他人と比較し競争する悪循環に陥っています。

幸せはお金もたらし、不幸なのはお金がないからであり、お金がないのは勉強を頑張っただけでこなかったからである。この論理をみんなが信じています。

しかし、私が日本に来てから感じているのはまったく違う人生観です。みんなが勉強することに楽しみを見つけ、自分の理想のために勉強しています。他の人と競争して、より多くのお金を稼ぐためではないです。学習は人生を楽しむための選択肢です。

こういう雰囲気の中で育ってきた人は、この世界の異なる人々が異なる生活「4'00」をしているのを見ることができ、色々な人がそれぞれの考えを持っています、彼らはすべてのことをお金が多い、少ないでまとめることをしていません

このことが私が日本に来てからの最大の収穫で、今まで当たり前だった人生観が覆されました。以上です。ご清聴ありがとうございました。